令和３年度「進学指導重点校事業」実施計画書

１　研究主題

難関大進学志望者を早期から育成し進路支援する方法の研究

２　研究主題設定の理由

昨年度から実施された新入試に対応する教科指導法及び進路支援体制の構築は急務である。また、主体性評価が求められる中、小論文・面接を課す大学も増えており、対応していかなければならない。今後も入試の変更が続くと考えられる。変化に動じない強い志望の早期確立が大切である。

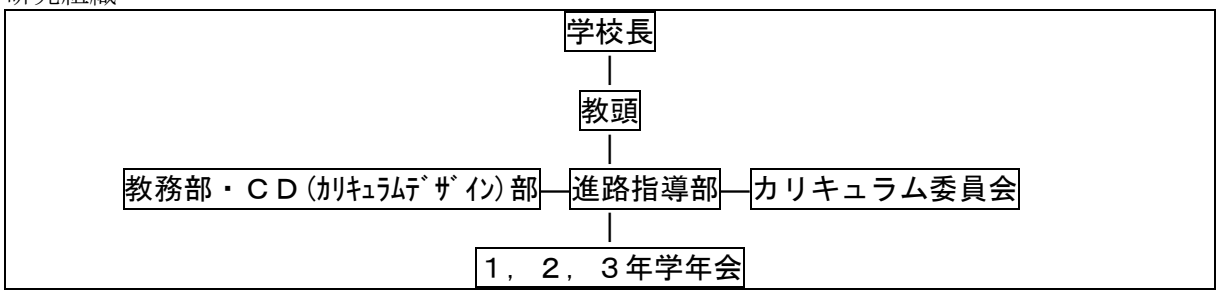
本校では国公立大学の合格者数は安定してきたが、難関大学については国公立・私立ともに減少傾向にあるため、難関大進学志望者を早期に育成し、継続して進路支援する方法を模索したい。

３　研究計画

（１）「外部講師による難関大入試対策講座」
　対　象：２年生（希望者）
　時期等：保護者懇談期間の午後等
　ねらい：外部講師による難関大入試講座を２年次に受講することにより、早期に難関大入試を知って進路意識を高め、今後の対策を具体的にイメージし実行できるようにする。

（２）「連携校協働による特定大入試対策講座」
　対　象：２年生・３年生（希望者）
　時期等：土曜日等
　ねらい：多治見北高校と岐阜北高校の土曜講座・夏季補習等をオンラインで相互に受講し合い、交流を深めることで学習のモチベーション向上を図る。

（３）「大学出前講座」
　対　象：全学年（希望者）
　時期等：夏季休暇中及び放課後等
　ねらい：名古屋大学等の先生を招いて出前授業（年に４～５回程度）を実施し、大学での学びに触れることで、進路意識の高揚を図る。

（４）「学部系統別進学説明会」
　対　象：１年生（全員）
　時期等：授業日（ＬＨＲ等）
　ねらい：大学教員による系統別進学説明会を行い大学に興味関心を持つ機会とし、早期の志望校決定に繋げる。

４　研究組織